

競技注意事項

1. 競技について

2018年 日本陸上競技連盟競技規則により競技を行う。

トラック競技

- ・スタート信号は電子音で行う。
- ・不正スタートは1回で失格となる。
- ・100mは第1レース、第2レースの2回実施する。
(第1レースと第2レースでは組・レーンが違うので、プログラムを確認のこと。)
(風向によりバックストレートで実施することがあるので、案内(通告)を確認すること。)
- ・スタート時における不適切行為にはイエローカードを提示する。2回のイエローカードで失格となる。
(ただし、当該種目のみの失格とする)
- ・トラック競技の記録は1/1000秒まで読み取り判定する。
- ・1500m以上の中長距離種目は、招集所においてレーン腰ナンバーカードを受け取り、右腰やや後方に着用のこと。レース終了後、係員に返却のこと。

フィールド競技

- ・フィールド競技の試技時間は30秒となる。
- ・棒高跳び、バーの上げ方は、以下の通りとする(天候による変更あり)

<棒高跳>

	(練習)			(開始)					
男子	3.00	3.50	4.00	3.20	3.30	3.40	3.50	3.60	・・・
女子	2.00	2.50	3.00	2.20	2.30	2.40	2.50	2.60	・・・

2. 招集について

- ・招集時間に関して

トラック競技	プログラム掲載の時間を確認すること
フィールド競技	

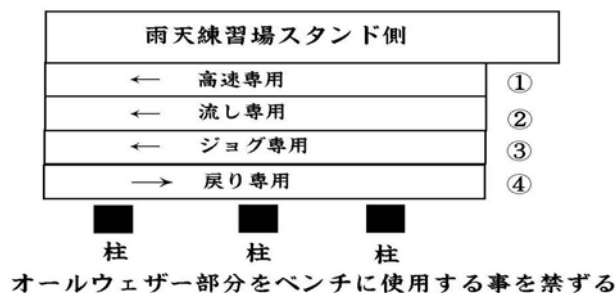
- ・招集所は、メイン競技場・第1ゲート(ゴール側ゲート)外側に設ける。
- ・主競技場への入場は、招集後各自で入場するので、すみやかに競技場所に移動すること。
- ・招集は必ず本人が行い、代理人による招集は認めない。遅れた選手は出場を認めない。
- ・電子機器類の競技場への持込を禁止する。(携帯電話、ミュージックプレイヤー等) 招集所で持ち物をチェックする。

3. 補助競技場 練習場について

- ・補助競技場内に、チームベンチを設置することを禁止する。
- ・ジョグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- ・1・2レーンは、長距離専用、3～6レーンは、流し等の専用とする。
- ・スタート練習は110mHのスタートラインを使用のこと。
- ・走路及びピットに立ち止まっでの指導等を禁止する。
- ・走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- ・直走路の横断は十分に注意すること。
- ・旧補助競技場(300mトラック)は立入禁止とする。

4. 雨天練習場の使用につて

- ・下図のとおりとする。(横断禁止)



*アスファルト通路部分はベンチとして使用を認める。

5. 競技場内及びその他について

- ・主競技場内へは、出場する選手以外の立ち入りを禁止する。
- ・競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。
- ・競技場、観覧席とも汚さないように気をつけ、使用した者で清掃し、ゴミは各自自宅まで持ち帰ること。持ち物の保管は各自で責任を持つ。
- ・更衣室の使用は不可とする。
- ・メインスタンドは防水処理加工がされているので、ベンチでの重石やスパイク着用での歩行を厳禁する。
- ・メインスタンドにテントの設置を禁止する。15列目より上の席に各校控え場所を置くことは可とする。
- ・メインスタンド1階への入場は役員・IDカード持参者のみとする。
- ・メインスタンド2階コンコースでのチームベンチ設置は可とするが、トイレ側の通路は空けること。
- ・芝生席・バックスタンドにベンチ、テントの設置は可とする。
- ・メインスタンド席からの集団での応援は禁止する。